

「グローバル入試」(英・国・算 入試) 「グローバルリーダーズ コース」

大妻中野中学校・高等学校では平成28年度中学入試において、『グローバル入試』『グローバルリーダーズ コース』を新設します。

グローバル入試(英・国・算)合格者は、
グローバルリーダーズコース(クラス)に在籍します

中3進級時以降 毎年 他コースへの移動も可能です

平成28年度 大妻中野中学校・高等学校
【グローバルリーダーズ コース】: 1クラス
【コア コース】 : 2クラス
【アドバンスト コース】 : 3クラス

という1学年編成(中1~高1)となります。

【Q&A 形式によるご説明】

A: グローバルリーダーズコース(以下GLC)とはどのようなコースですか。

大妻中野はSGH(スーパーグローバルハイスクール)アソシエイト認定校<文科省>です。SGH校としての教育プログラムは学校全体で実践するものですが、GLCはプログラムの牽引役となります。<「SGH」プログラムの内容は、質問Kで回答しています。>

GLCは英語力の高い生徒、英語に高い関心・意欲を持つ生徒が在籍するクラスです。英語の授業はAll English授業でNative教諭が4コマ・日本人教諭が2コマ担当します。

「英語の授業は、そのレベルに合わせて α ・ β の2展開となります。

<「GLC」の授業内容は 質問H・Iで回答しています。>

B: 「GLC」に入学するための受験方法は2種類ですか。

(募集要項 詳細はHPにて御確認下さい)

① **「グローバル入試」を受験する**

<グローバル入試についてはHP内の別項目で説明しています>

: 2/1 AM 国・算・英(各100点満点)

<英語得点1, 5倍 換算>

- ② 海外帰国生入試を受験する : 受験機会 3 回
(昨年より 1 回増)
- ・ 11 月 28 日 (土) 英語・面接 または 国語・算数・面接
 - ・ 1 月 16 日 (土) 英語・面接 または 国語・算数・面接
 - ・ 2 月 3 日 (水) 英語・面接 (国内インターナショナル校出身者も出願できます)

* 定員は ①と② 合計で 35名です。

C:「グローバル入試」とはどのような入試ですか。

- ・ 2/1 (月) AM に実施します。

【国・算・英】 3 科目受験です。 <面接試験はありません>

各科目 50 分 各 100 点満点 (英語得点を 1, 5 倍換算とします)

- ・ 英語サンプル問題は HP から見るすることができます。
- ・ 特待生 (若干名) を発表します。
- ・ 国語・算数の問題は、コア選抜入試と同じ問題となります。→ 過去問へリンク
対策は過去問題を問いてみてください。

**D: グローバル入試 (英・国・算) で受験します。GLC ではなく「アドバンストコース」
「コアコース」への合格となる場合もあると聞きました。どのような仕組みですか。**

はい。**アドバンストコース または コアコースへの合格**となる場合もあります

大妻中野には、「GLC」の他に、「コアコース」、「アドバンストコース」というコースがあります。

「GLC」では英語の授業が All English で実践されます。グローバル入試で、英語の得点が合格点に届かない場合、国語・算数の得点により、「アドバンストコース」または「コアコース」への合格となる場合があります。

中学 3 年進級時に「GLC」への移動可能です。このときに「GLC」を希望する場合、コース移動に向けて頑張ってもらいたいと考えています。

E: 海外帰国生入試志願者が多く、また合格者が多く発表された場合、グローバル入試での合格者が少なくなってしまう心配はありませんか。

ご心配はないと考えています。理由を 2 つお話しします。

理由 1 : 過去の海外帰国生入試の結果 (受験者数・合格者数・入学者数) から判断し、そのような事態が発生する可能性は極めて低いと考えます。

理由 2：海外帰国生・グローバル入試受験生が予想よりも多く、入学者数も多かった場合、グローバルリーダーズクラスを2クラス編成にすることも考えています。

F：「グローバル入試」を志望する人はどのような受験生でしょうか。

○英語学習歴のある国内生で、英検4級程度以上の英語力を有する児童

- ・海外在留経験があり、帰国生入試受験資格のない児童
- ・帰国生入試受験資格を有する海外帰国生
- ・国内インターナショナルスクール出身者

以上のような児童の皆さんが志望してくださると考えています。

海外での在留経験のない児童でも対応できるレベルの試験問題を準備します。

G：「GLC」で学習した人たちは

高校卒業時にどのような大学進学を目標としているのでしょうか。

- ・海外大学への進学
- ・国内SGU（スーパーグローバルユニバーシティ（注）への進学
- ・国内難関大学の国際系、外国語系学部への進学

を主な目標としています

（注）＊SGU（スーパーグローバルユニバーシティ）とは：日本学術振興会 HP 参照
http://www.jsps.go.jp/j-sgu/data/shinsa/h26/h26_sgu_kekka.pdf

2020年大学入試改革が話題になっています。この改革はすでに前倒しで始まっていると判断した方がいいでしょう。改革は英語入試からすでに始まっています。英語の入試システムが最初に大きく変わります。TOEFL iBT・TOEIC・英検などの民間試験を大学が活用することが予想されます。

また、「思考力」を問うテスト導入されるといわれていますが、「課題を発見し」「解決策を思考し」「発信し」「実行する」という学習は、大妻中野のSGH（スーパーグローバルハイスクール）アソシエイト校としてのプログラムで実践されています。

基礎学力を大切に育み、この実践を通して2020年大学入試改革に対応を始めています。

H: 「GLC」での外国語授業はどのような仕組みですか
(中1～高1<第1・2ターム>についてお話しします)

- ・英語：習熟度別に2クラスに分かれて学びます <週6単位>
4単位：Native (外国人) 教諭が担当します (プロジェクト型学習)
2単位：国内 (日本人) 教諭が担当します
- ・フランス語： 週1時間の授業があります。(中学生) <高校生は2時間>
- ・タブレット (生徒所有) による「Real time 英会話 lesson システム」を利用して日常生活で利用する英会話の力も習得します。
- ・Native 教諭の授業は、英会話 lesson だけではありません。文法、ライティングなど全ての分野を担当します。授業のほとんどは英語で行われます。

* 「英語・フランス語の力」は高校3年生卒業時には、次のレベルまで到達します。

- ① 卒業時には英語4技能の総合的な英語力として、**CEFRのB1~B2**レベルまで到達します。

具体的には最低到達ラインとして

TOEFL iBT では、 **57点** を取得します。

TOEIC では、 **750点以上** を取得します。

- ② 高校でもフランス語を選択する生徒は、卒業時に仏検3級～準2級を取得します。

I: 中学1年～2年次の「GLC」での他教科授業はどのような仕組みですか。

- ・数学：習熟度別に2クラスに分かれて学びます。
* 海外帰国生が海外で受講した授業は、日本国内と進度が違う場合が多いからです
* 年度途中で移動もあります。
- ・国語・社会・理科：クラス全員で一緒に学びます。
* 過去14年間、海外帰国生クラスでこのように実施してきました。
その経験からこの方法をとることにしました。
- ・社会は、中1・中2で地理・歴史を「Global Geography and History」
中3で公民を「World Citizen」として世界的な視野を意識した教材を利用し、
イマージョン教育も含め実践します。

* 国語：放課後補習制度 (希望制) があります。 <特に海外帰国生対象です>

* 各教科：個別または全体補習で対応していきます。

* 中1～中2では基礎力の徹底をはかるため、理解できるまで 課題 (宿題) →小テスト
→補習を実践します

J: 「GLC」では海外体験学習を経験できますか。

- ・ **中学1年次**：学年全員が English Camp（国内）に参加します。
「GLC」の生徒はこの Camp のリーダー役です。
- ・ **中学2年次**：「GLC 生徒」はカナダ体験学習に原則必ず参加となります。
学年全体では、毎年約 100 名が希望参加しています。
他のコースの生徒とは別プログラムでの学習となります。
（*他コース：アドバンストコース・コアコース）

：国内 English Camp（学年全員）に参加し、リーダー役を担います。
- ・ 中3以降の海外での学習については L を参照してください。

K: 「GLC」のSGHプログラムについて教えてください。

*大企業・SGU 各大学・大妻女子大学その他の国際的機関と提携・連携・協力関係を結ぶことができました。「講演を拝聴する」というレベルのプログラムではなく、海外・国内でのフィールドワーク、アクティビティなど、提携企業、大学との協働作業を中心とする中身の濃い体験プログラムです。

❖ **東京外国語大学** 提携プログラム

（外大教授による派遣授業＜タイ語・タイ文化指導＞）
（外大学生による 本校生徒との英語セッション＞）

❖ **上智大学** 提携プログラム

（タイ チェンマイへの フィールドワーク ）
*タイ チェンマイの山岳地にある村との交流を通し地域開発を共に企画

❖ **早稲田大学 ICC** 連携プログラム

❖ **早稲田大学** 留学生との英語セッション

*早稲田大学留学生を本校文化祭などの行事に招待し、英語による学校案内ツアー実施・テーマを決めた討論会開催＞

❖ **東京藝術大学** 提携プログラム

（「Arts で世界を繋げる企画」のアドバイスを頂きながら共催、最終的には大妻中野が主催する海外からの招待チームを招いての大会開催を企画）

❖ **(株) キリン** 提携プログラム

*海外広報事業部の担当者による本校での講演 海外工場見学

❖ **(株) 博報堂** 提携プログラム

*国内（地元）フィールドワークを通し体験授業を経験し、地方の「地域開発」を企画実践する。

以上のプログラムの中には、高校生だけが参加するものもあります

L : 「GLC」 留学・研修制度 提携する海外の学校・大学は。

(他コース在籍者も参加できます)

<平成 27 年 7 月 13 日現在>

1. カナダ体験学習

研修地：カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州・バンクーバー

/ University of British Columbia

参加対象：中学 2 年生 約 100 名参加予定

期間：7 月中旬～8 月初旬

2. セントアンドリュース姉妹校短期留学

研修地：オーストラリア・クィーンズランド州・ケアンズ

/ St. Andrew's Catholic College

参加対象：高校 1 年生、2 年生 30 名 参加予定

期間：7 月中旬～8 月初旬

3. コリブリ・フランス短期交換留学

研修地：フランス各地のリセ

参加対象：高校 1 年生、2 年生（フランス語履修者）3~4 名参加予定

期間：3 月中旬~4 月初旬

4. コリブリ・ニューカレドニア短期交換留学

研修地：ニューカレドニア各地のリセ

参加対象：高校 1 年生、2 年生（フランス語履修者）3~4 名参加予定

期間：3 月中旬~4 月初旬

5. アメリカ・セントジョセフ大学短期研修

研修地：アメリカ・コネティカット州・ハートフォード

/ University of St. Joseph（大妻女子大学国際センター提携大学）

参加対象：高校 2 年生 10 名参加予定

期間：7 月下旬~8 月初旬

6. ニュージーランド短期留学

研修地：ニュージーランド・ニュープリマス

/ New Plymouth Girls High School

参加対象：中学 3 年生 10 名参加予定

期間：7 月下旬~8 月中旬

7. セントアンドリュース姉妹校・ターム留学

研修地：オーストラリア・クィーンズランド州・ケアンズ

/ St. Andrew's Catholic College

参加対象：高校 1 年~2 年生 1 ターム（3 か月）につき 2 名

期間：第 1 ターム 年 1 月下旬~4 月上旬 2 名

第 2 ターム 年 4 月中旬~7 月上旬 2 名

第 3 ターム 年 7 月中旬~10 月上旬 2 名

M：「GLC」の6年間・その特徴について教えてください

☆中学3年進級時に他コースへの移動も可能です（その後も可能です）

<理由>

- * 12歳の時点で受験生の6年後の道を固定してしまうことはできないと考えています。
- * 6年間で生徒は大きく成長します。12歳の時には自分でも考えたこともなかった進路希望、将来への夢が生まれることがあります。そのときに自分に合ったコースへの変更が可能なシステムを採用しました。

*授業料は他コース（アドバンストコース・コアコース）と同額です。

<海外短期留学などは実費負担となります>

N：ICT教育環境が充実しているようですが、具体的に教えてください。

☆全教室電子黒板設置による授業をすでに展開しています（2013年より）

☆平成28年より（中1・中2・中3・高1）生徒全員がタブレットを所有することになります（個人所有 約89,000円）

Active learning がさらに充実します。

「教員が教える」という一方通行の授業でなく、自ら考え→自ら意見を発信し→自ら実践するという形式の授業が増えます。

☆タブレット利用による「Real time 英会話 lesson システム」を導入します。

英語の授業の中で、一部の時間を利用して、タブレットを通して、

1対1の英会話 lesson が行われます。

平成28年度入試 一般入試も含めた募集要項（案）もHP上に掲載しました。

<正式発表は平成27年9月を予定しています>

以上

*なお、一般入試（アドバンスト選抜入試・コア選抜入試）に大きな変更点はございません。

受験生保護者の皆様へ

現在、大妻中野では、海外帰国生が在籍生徒の1割を占め、日常の学校生活がすでにグローバルの香り溢れ、帰国生のみならず学校全体がグローバル社会におけるダイバーシティ（多様性）を理解し、受け入れ、発信できる環境となっています。

海外帰国生とグローバル入試生によって構成される「グローバルリーダーズコース」は、大妻中野がすぐそこに迫ってきている「グローバル社会」で活躍できる生徒を育てるための推進力となるコースです。

この力はもちろん全生徒、全校へと波及していきます。

◎「グローバルリーダーズ コース」新設の目的

大妻中野中学校・高等学校は、建学の精神【学芸を修めて人類のために】に則（のっと）り『グローバル社会』と呼ばれる新しい社会を正しく認識し、『グローバル社会』のいかなる場面においても、リーダーシップを発揮できる女性育成のための教育活動を実践します。

「グローバルリーダーズ コース」は、その教育活動において校内で先導的役割を果たし、最終的には全校生徒・学校全体が、建学の精神を国際社会に発信できる力を獲得することを目的としています。